

BERCニュース

関西でCSR研究部会が発足

情報交換、会員交流活発に

今年度、第一回目の関西研究部会(部会長、剣持浩BERC専任講師)「CSR研究会」が、五月二十五日、大阪商工会館で開かれた。BERCの今年度事業としてスタートした中心活動の一つ。

当日は、水谷雅一会長の「挨拶と抱負」が披露 夫・追手門学院大学副学長

による基調講演があった。テーマは、「経営倫理の現状と課題―高次の社会的責任をめざして」。懇親会終了後も、講師に意見を求める熱心な参加者もいた。関西研究部会には関西、中部の両地区に本社機能を

BEO昼食懇話会開く

BEO(経営倫理担当最高責任者)昼食懇話会が五月十八日、東京プリンスホテルで開かれた。今年度からスタートした新事業の一つ。現在、BERC活動は年々幅広く、各分野に展開している。一方、BEOはそれぞれ会社の中核にいる人たちだけに、多忙を極め、なかなか集中して会議を持てない状況。BEO同士の意見交



①第1回目の関西研究部会(5月25日)②スタートしたBEO昼食懇話会(5月18日)

発の排管事故などが相次いで発生、企業不祥事とCSRのあり方について感心が高まっている。

17年度年活動計画など承認

BERC理事会 経営倫理実践研究センター 加した。関西では、最近、JRW日本の脱線事故、原

BERC新入会員の紹介

- ▽①カルビー②27・4503億③中田康雄④吉岡洋(取締役常務執行) 6月末現在 計85社

実行委準備会開く 湘南セミナーいよいよ始動

湘南セミナー2005(BERC主催)の実行委員会発足へ向けての準備幹事会が六月二十二日に開かれた。水谷会長はじめ事務局スタッフと池田耕一松下電器産業法律本部室長ら幹事グループが出席。実行委員会スタートへ、基本的事項を

トップが語る キックマン会長 茂木 友三郎さん



もぎ・ゆうざぶろう 慶応大法学部卒業。コロンビア大学経営大学院卒。1958年キックマン入社。1995年、代表取締役社長就任。2004年6月、代表取締役会長就任。70歳

―IFEスチール・昭和電工の千葉地区の水質データ改ざん、三菱地所と三菱マテリアルの土壌汚染を隠

―「官から民へ」という市場経済への動きは止められませぬ。規制を少なくして市場経済に移るといふ流れは歓迎すべきことです。ところ

マナーを守る市場活動を

「東京ガス、帝人、HOYAの三社の社外取締役をしています。幸いにして問題は今のところ出ていませんので効果があるのではありませんか。うちの会社もソニーの副社長だった橋本綱夫さんと大蔵省の事務次官だった尾崎護さんに社外取締役をしてもらっています。この二人と私が人事と報酬委員会を作り決めています。今の社長を選んだのもこの委員会です。」

―「それは検討中です。監査委員会を作るよりも現在の監査役(社外監査役二人)を活用した方が良いかの選択になります。」

インタビュー・経済ジャーナリスト 阿部和義

成果主義導入の波紋

過労死 労災認定のケースも

バブルがはじけて企業はコスト削減に一生懸命になった。日本の企業で一番大きなコストは人件費である。日本経団連によると世界で一番高いのが日本の賃金だ。年功序列で働いても働かなくても歳をとると共に給与

が上がる仕組みであった。こうした賃金制度を成果主義に変えるべきである」と九五年に日経連(現在の日本経団連)が「新時代の日本の経営」で提案した。

会社にもうけさせた社員にたくさん給与をあげるといふ仕組みである。上司が部下を評価して給与の額を決めるのが成果主義である。売上高が減る中でコストダウンをするにはこうした賃金制度に変えることが企業の存続のためにやむをえないことなのだ。日本企業協会

して実績を優先的に評価するように変えた。Sさんは九八年に三階級特進して給与も年五百万円から七百万円になった。

優秀なSさんは各部署から引っぱりだこであり機械設計部からレーザー装置開発部門に変わった。勤務は残業労働制であり、何時間働いても給与には反映しない。Sさんは上司から次々と仕事を持ち込まれるのを黙々とこなしてきた。毎月残業は百時間を超えて、疲れきって自分がどのように車を

運転して帰ったかも分からないほど疲労が重なっていた。

そうした時にレーザー装置の納入が遅れるというところが、上司から厳しく怒られ「評価を落とす」といわれた。こうしたことが重なってSさんは九九年十二月に自殺した。

過労死ということでは平塚労働基準監督署は〇二年九月に労災と認定した。さらにSさんの姉が〇三年七月、同社を相手取って損害賠償請求の裁判を起した。

社会貢献活動の現場から

10

子供のビデオ撮影コンテスト 今年、14カ国390校参加

「ぼくは、ビデオカメラマン」。世界中の小中学生撮影スタッフを主役にした松下電器産業のKWN(Kid Witness News)。開催中の地球博にも登場し、話題となっている。

KWN誕生のきっかけは、一九八八年から始まった小中学校への撮影機材の貸し出しだった。ビデオカメラが普及し始めた頃で、撮影用カメラ、同マイク、編集機材の使い方やパナソニックの社員達が学校の課外授業で教えた。地域社会奉仕のボランティアだ。

松下電器産業

八十年代、アメリカの教育現場は、かなり荒れており、不登校等が社会問題化していた。ところが、正規の授業には出てこない生徒でも、撮影には興味を持ち、登校してくると子供達が多く出始めた。KWNの始まりだ。



毎年、パールハーバーに花を送り続けている旧日本海軍兵のおじいさんを取り上げた撮影チーム。KWNコンテスト優勝で来日、日本での追加取材をするハワイの小学生ら

子供達の関心の高まりと共に、「作品を皆に見てもらいたい。誰かに評価してもらいたい」という声が上がった。そこで、米国で毎年一回、コンテストを実施するようになった。審査員は、米国コロンビア大学映像学科の関係者や、有名ジャーナリストら。審査部門は、ニユース、ドキュメンタリー、地元のヒーロー、など六つ。コンテストの規模も大きくなり、既に延べ七万人以上が参加、二〇〇三年から国際部門賞を設けた。今年度は、「EXPO二〇〇五スペシャルコンテスト」として

ペルー、ポランド、アラブ首長国連邦など世界十四カ国三百九十校から応募があった。現在、愛・地球博で会場とウェブを結び、各国からのエントリー作品を放映している。

日本の代表作品は、愛知県岡崎市立小豆坂小学校の「かけがえない自然四谷千枚田」。千枚田の緑の美しさが印象的な環境問題についての作品。

作品の実況は、日本以外では、インタビュー取材の段階から英語で行われ、授賞式での各自の受賞スピーチも英語だといふ。

KWNでは、子供達の創造性やコミュニケーション能力の向上を目指している。ビデオカメラと共に取材活動をすると、各チーム内で、各自が得意分野を発見、個性を伸ばしていくという。機材はセットで貸し出し、コンテストに参加したら一二年後ぐらいに贈呈している。

一方、国際交流も盛ん

蛍光ペン

東京近郊の私鉄の駅。身のこなしが不安定な様子から、知的障害ではないかと想像できる高校生くらいの男の子が、駅までの道やホームに落ちていた紙くずなどのゴミを両手にいっぱい持つてきよろきよろとゴミ入れを探していた。どこにもないと分かった彼は泣きそな顔で立ちすくんでいた。そしてついに両手からゴミがこぼれ落ち足元に散乱した。

駅や公園からゴミ入れが一旦に撤去されたのは、多くの犠牲者を出した地下鉄サリン事件の直後のことだ。人がたくさん集まるところには危険な不審物が残されている可能性がある、という判断で、危険物の隠れ家になりうるゴミ入れが撤去された。

あれから十年、JRの駅ではゴミ入れが少しだけ戻ってきているようだが、私鉄ではクリーン作戦やらの掛け声で、タバコも禁止になっているし、

人件費を削減するために採用された成果主義の犠牲とも言える。この成果主義はSさんのように自殺まで行かないまでもいろいろ問題を起している。成果を誰かが評価するの、という問題である。上司が部下を評価するのであるがゴミをする部下に良い点を与え、逆に仕事ができても評価が低いというケースも出てくる。

ある会社では社長が徳島県出身ということから「阿波踊り」に会社ぐるみで参加することになった。この阿波踊りの参加メンバーが少なかつた部署のA部長は左遷されたという。またB部長の家が農家だったため田植の手伝いに行った社員は評価が良かったという話まである。

こうした一連の動きに対して過労死一〇番を開設している川人博弁護士は「成果を出さなくてはいけないということだがストレスを招いてくる。上司がきちんと評価するかどうかも問題である」と話している。東大大学院の高橋伸夫教授は「虚妄の成果主義」(日経BP社)という本を出している。同教授は「成果主義の経営が次の経営をする幹部を育てないことが問題」と訴えている。日本型経営の年功型賃金が次代の人材を育てる面があることを強調している。

JRだけではなく。私鉄だって、地下鉄だって公共交通機関だが、公共性など忘れて、コスト削減、利益追求一辺倒だ。確かに純然たる私企業だが、多くの人が日夜行き交い公共性の高いサービスを提供して成り立っている事業なのだ。それなのにペットボトルや缶ジュースを捨てる小さな丸い穴はあってもゴミ入れがないのはどうしたわけだ。いまわれわれの周辺で、公共的立場を意識して対応しているのは町のコンビニではなかろうか。どこでも店の前に三つや四つに分別した大きなゴミ入れを置いていて、自分の店で売った物以外でも、どうぞ捨てていってください。いと、お客の利便を考えた姿勢が読み取れる。駅から降りてくる客が手に持ったゴミや新聞を駅前鉄から民営化したときに、道経営者はそれで恥ずかしくないか。(朗)

JR、私鉄の駅など ゴミ捨て場が無い! どこにいった公共性

東洋新聞

JR、私鉄の駅など、ゴミ捨て場が無い!どこにいった公共性

百七人の犠牲者を出している、いまも大きな問題を抱えているJR西日本の尼崎列車脱線事故について、ある人は「JRが国鉄から民営化したときに公共性を捨てて利益追求

断ち切れるか不正の根

国・道路公団の橋梁談合 公取委が「大なた」振るう

解散したはずだった談合組織。構成メンバーには超有名企業。日本道路公団の発注工事ではメンバー企業に天下った元理事が談合を主導。公取委が二〇〇四年十月に橋梁メーカー約七十社に立ち入り検査をして着手した。国と日本道路公団を発注者とする鋼鉄製橋梁工事の談合事件は、国土交通省の分が六月十五日に起訴。二十九日には検察が本丸とみる公団ルートの強制捜査に踏み切り、官製談合の解明というヤマ場に差しかかった。過去四十年以上も続いたとされる不正の根は断ち切れるのだろうか。

談合組織は先発メーカーは「K会」「A会」として十七社の「K会」と後発三十社の「A会」。一九六〇年前後に、それぞれ「紅葉会」「東会」として発足したが、九〇、九一年に談合資料が流出して恐喝事件に発展したことをきっかけに、両組織ともいったん解散。しかし、九四年ごろに

日本経営倫理学会の活動

活動計画など承認

17年度年次総会開く

日本経営倫理学会(水谷雅一会長)十七年度年次総会が、五月二十八日、次総会が、五月二十八日、東京大学・山上会館で開



④東京大学・山上会館で開かれた日本経営倫理学会の17年度総会 ⑤名古屋商科大学で開かれた中部地区研究会

かされた。総会では、平成十六年の活動状況、決算、監査について各報告があり、いずれも承認された。さらに平成十七年度活動計画、予算審議が行われ承認された。また、理事定数の変更も承認され、これを受けて新任理事六人、再

ジェンダーなどをテーマに 中部地区研究会

日本経営倫理学会中部地区研究会(担当理事、高浦康有・名古屋商科大学助教授)が、六月二十六日、同大学院伏見キャンパスで開かれた。同地区今年度初の研究会で、約

「K会」のメンバー会社に天下った元公団理事に受注調整を任せていたと報じられている。入札は費用の最小化が目的だ。談合でそれが阻まれれば、負担増は納税者や高速道路の利用者に降りかかってくる。巨額の債務を抱え今年十月に民営化する公団にとって、低コスト体質への転換は急務のはずだ。一方、談合組織のメンバーは談合によって、安価な製品を供給する企業努力の動機を失う。起訴された企業の一部にとどまっていた。独禁法は「公正かつ自由な競争を促進し、事業者の創意を發揮させ」ることで消費者の利益確保と国民経済の健全な発達を促すた

生産者、消費者間で 情報共有、リスク対応

鳥インフルエンザが、茨城県水海道市の養鶏場で発生した。農林水産省の発表では、近くの別の養鶏場からも、過去に鳥インフルエンザウイルスに感染している

やむをえない事情ではあるが、しかし、国内ですでに発生を経験している以上、特に養鶏場経営者や自治体の衛生管理関係者らには、一層の注意義務を果たすように求めたい。いったん感染すると、短時日のうちに被害が広がる恐れが強いからだ。弱毒性のウイルスでは症状も比較的弱く、単に元気がない程度から、呼吸器症状、産卵率の低下などさまざま。たとえ感染しても、自然に症状が消えてしま

CSRへの取組 みは広い視野で CSR研究部会

CSR研究部会が六月二十三日、南青山会館で開かれた。講師は、柴田稔久(しばた・としひさ) IBM常務執行役員。柴田講師は、「企業の社会的責任の高まり」に、今一番関心が集まっていると指摘。CSRとコーポレートガバナンスによる経営者の新たな競争が始まった。勝つか負けるかの時代の下、フェアな形で自己主張していく必要性があるという。現在、CSRのISO

北問題への取り組みなど、国際ルールを作っている段階。この段階に参加できなければ、日本の国際競争力が落ちてしまふ、と強調した。CSRについて①企業の本業と社会への責任②経営者の責任と株主③個人の生き方と社会④を挙げ、視点を広げ捉える必要性を訴えた。

日本にもCSR の原型が… 平田教授が講演

当日は、平田教授が自著「企業倫理とは何か」石田梅岩に学ぶCSRの「精神」を配布、これをもとに講演した。現在、企業の社会的責任を問う声が高まっているが、欧米流の経営を学ぶ前に、日本独自の「商人道」を見直すべき。江戸期に確立した石田梅岩の「心学」にこそCSRの原型がある、などと強調した。

入会の申込み

経営倫理実践研究センターでは賛助会員の入会申込みを受け付けている。
▽年会費50万円
▽入会時に「経営倫理担当最高責任者」を登録する。
申込み・問い合わせは経営倫理実践研究センター事務局へ。
電話03(5413)5897
FAX03(5413)5898



はからずも受賞の栄に浴した拙著「経営倫理学の

回顧随想 <10> ライフ・ワーク としての経営倫理

BERC会長 水谷雅一

実践と課題」(白桃書房)の授賞式が平成9年如水会館(東京・神田)で行なわれた。そこでこの賞の第一回受賞には、かの有名なアメリカの経営学の大先達であるピーター・ドラッカー氏も含まれていることを知り、驚きと誇りを感じ

たことを今でもハッキリと覚えている。受賞理由に「藤芳明大名教授」では「とかくアメリカでは実践論中心の経営倫理学に

り、それが新しい経営倫理学の目指すところである旨が強調されている訳である。この受賞を契機に多

面からこの経営倫理四原理の基本的枠組みについて強い関心が寄せられ、講演や原稿執筆の依頼が増えてきた。その中の一つとして、この受賞作はやや理論的な記述であるが、その

「禁じられた遊び」(太陽がいつぱい)、邦画では「瀬戸内少年野球団」など約五〇〇本のポスターを手がけた名デザイナーだ。

大島さんは一九五四年、東和映画(現・東宝東和)入社。宣伝部に配属され、ポスターのデザインが仕事

になった。青山学院大英文科卒だが、もともと芸大志望だったから、絵心はあった。当時は、すべて手書き。文字まで手書きという作品もありましたよ」と大島さん。

担当の作品が決まると、まず試写を見る。スチール写真や資料を集めて、映画

「似ている」という点だけな

受賞の驚きと効果

pliance check organization, Consensus by education)としてまとめた力作である」との趣旨の説明をいただきたい。旧来からの工業化社会

の要請を受けた。その頃大学でも学会でも多忙ではあったが、研究室に日参までして私を口説く強い熱意を示した「丸善」社の要

請に絆されて承諾し、丸善ライブラリー「経営倫理学のすすめ」を発刊すること

のタイトルを決める。主たる観客層とセールスポイントを絞り込む。それらを総合してポスターの絵柄を考え、惹句(じやく)つまりキャッチコピーを考える。一本の映画について、十数本のポスターを作った。

「スターの顔を正面からきつと大胆不敵。」

「減り、写真が取って代わる。画家に頼むと経費がかさむ。」

「似ている」という点だけな

「似ている」という点だけな

いまだきビジネススマンは... 当世勤人気質 <10>

赤瀬川 隼

テレビ・ドラマが今しもクライマックスにさしかかり、視聴者の神経が画面に集中したとき、突然画面が切り替わり、CMが始まる。

以前は、番組の途中でCMを挟むときは、そうする旨のアナウンスがあった。それがいつからか、ことわりなしにCMに移る作法が主流になった。しかも最近ではそれだけでなく、それまで

続いてきた番組と紛らわしい情景や、番組と同じ役者を使い、束の間であれ視聴者に、番組のシーンの続きと思わせる手法を用いることが多くなった。

「ここで一旦コマースャル」(「続きはお知らせの後で」)「な」とことわりのあった

「な」とことわりのあった

当今CMの手法とモラル

これは、トイレに立つなり一服するなり、それなりの気分の切り替えもできた。しかし、

画面の切り替えに気が付かなければ、気分の切り替えもできない。だまされた感じを抱いてしまふ。

CMを制作し番組を提供する側と、それを視聴する

側と、それを視聴する

読んだら 老けないコラム

新聞が読みにくくなり、「眼」から老化を実感する方は多いことでしょう。今回は、誰もが経験する老眼をはじめ、眼の老化と上手に付き合うポイントを紹介いたします。

まず老化で視力そのものは落ちるのでしょうか? イイエ、白内障などの病的因子が加わらない限り、老化だけで視力が落ちることはありません。10の方は100歳でも1.0が可能です。では老眼とは?

これは30センチより手前にピントが合いにくくなることで、加齢で眼のレンズ

は怖れるに足らずです。むしろ要注意は、40歳以降増加の緑内障や糖尿病からくる網膜症。しかし

40歳からのAge-less

ワンポイント③ <眼>

さらに弱度の近視、メガ3D(ジオプリー)前後の方では、老眼が進むにつれ、日常生活には眼鏡がいらないという特典があります。

目を老化する原因は、40歳以降増加の緑内障や糖尿病からくる網膜症。しかし

目を老化する原因は、40歳以降増加の緑内障や糖尿病からくる網膜症。しかし

目を老化する原因は、40歳以降増加の緑内障や糖尿病からくる網膜症。しかし

シネマ談話室



手書きのポスターを見なくなつた。例えば、写真をご覧いただきたい。フラン

主演のアリダ・ヴァリアのアップを手書きで描いて、とても味わい深い。

このポスターを描いたのは、横浜に住む大島弘義さん(七三)。ほかに「哀愁」

「似ている」という点だけな

「似ている」という点だけな

「似ている」という点だけな

「似ている」という点だけな

「似ている」という点だけな

「似ている」という点だけな

編集後記

▽BERCの今年度活動が、次々に始動。今号一面では、BEO昼食懇談会、関西CSR研究会の発足が紹介されている。新しい活動では、会員の情報交換懇親会交流なども重要。それぞれの会場で活気あるコミュニケーションが続いた。

▽やはり今年度の主要活動として「湘南セミナー2005」経営倫理・定着化セミナー」が、湘南国際村(神奈川県)で連続二日間にわたり開催される。六月下旬、同セミナー実行委員会・準備会が開かれ、テーマ、組織、財政などが検討された。BERC主催の大型イベントとして注目されている。

▽BERCニュースが第10号を迎えた。二〇〇三年十一月発行以来、紙面サイズはタブロイド版。日本での日刊紙は、大判(プランケット版)が主流で、タブロイド版は、ほぼこの半分

の大きさ。欧米では日刊紙は大判が多かったが、最近、英国の高級紙が大判からタブロイド版へ移行する動き、世界的にタブロイド版が広が

りつつある。BERCニュースも紙面サイズは手頃で読みやすいと好評のよう

だ。

だ。

だ。

だ。